

令和6年
11月

北文化小劇場 催し物ご案内

開催日	催事名	開演	終演	問い合わせ先	入場料
3日 (日・祝)	北区合同文化祭	13:00	15:40	北文化小劇場 052-910-3366	無料
8日 (金)	team TRASH 本公演 10th Anniversary performance 「TRASH BOX」	19:00	20:30	team TRASH(神田) 080-6908-1128	全自由席 前売 3,000円 当日 3,500円
9日 (土)		①13:00 ②17:00	①14:30 ②18:30		
10日 (日)	まどろみの宴	11:30	15:30	春友会(春宮) 052-901-7646	無料
17日 (日)	日本舞踊 華遊会	13:00	15:30	中京花撰 舞遊会(葛西) 090-3305-4507	無料
19日 (火)	映画 「お終活 再春!人生ラソディ」 上映会 チケット 取扱い	①10:30 ②13:30	①12:30 ②15:30	京都映画センター 075-256-1707 (FAX 075-255-1905)	全自由席 前売 1,100円 当日(一般) 1,400円 当日(シニア) 1,300円
23日 (土)	お豆腐の和らい2024 名古屋公演 チケット 取扱い	13:30	15:30	クラブSOJA事務局 075-221-8371	全指定席 一般 4,000円 学生 2,000円 小学生以下 1,000円
24日 (日)	第21回 なごや手話フェスティバル チケット 取扱い	13:30	15:30	なごや手話フェスティ バル実行委員会 FAX 052-413-5853	前売 2,500円 当日 3,000円 ※小学生以下無料
30日 (土)	ゆかりバレエ公演2024	18:00	20:30	ゆかりバレエ 090-4466-8854	全自由席 3,000円 (前売・当日共通)
1日 (日)		16:00	18:30		

**チケット
取扱い** …北文化小劇場にてチケット取扱い

* 非公開の催し物や練習でのご利用等のため掲載のない催し物もございます。予めご了承ください。
* 催し物の時間、内容等が変更になる場合がございます。

公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 [北文化小劇場]  

お問い合わせ
TEL 052-910-3366 FAX 052-910-3367

アクセス
名古屋市北区志賀町4丁目60-31
地下鉄名城線「黒川」下車4番出口から北へ徒歩12分

名古屋市北文化小劇場情報紙

2024
北文化小劇場だより 11月



Topics

- イベント案内「KITA JAZZ! 音楽祭」
- 伝統文化アドバイザーエッセイ

総合建設業
株式会社 原田工務店
052-901-3210

KAWAI
NAGOYA
052-962-3939

清瀬 金虎
052-981-3960



お料理・仕出し・うなぎ
魚鉄
052-911-1211

10/13(土)～12/21(土)の70日間、北区の様々な場所でジャズイベントを開催！
北文化小劇場では最終日に世代やジャンルを超えた音楽祭を開催します！

イベントの詳細はこちら



KITA JAZZ!

音楽祭

入場無料
(要整理券・先着順)
(全自由席)
未就学児入場可
ひざ上鑑賞は整理券不要

音楽に親しみ、響き渡る音色を楽しむフェスティバル！

北区で活動している団体や学校を中心に、北文化小劇場で賑わいあふれるひとときを創り上げます。
今回はビッグバンドに加え、北高等学校 音楽部による合唱のステージも。
世代やジャンルを超えて、みんなが笑顔になれる音楽祭です。

Free Hills Jazz Orchestra

AUTOBAHN JAZZ ORCHESTRA

日時

2024年12月21日(土)

開場 13:30 ▶▶ 開演 14:00 ▶▶ 16:15(予定)
(途中休憩あり)

会場

北文化小劇場

●主催 名古屋市北区役所
●制作・問い合わせ 名古屋市文化振興事業団【北文化小劇場】

整理券取扱い ※各申込方法ともお一人様4枚まで

2024年11月13日(水) 9:00～

- 北文化小劇場事務室にて受付(先着180名分)
電話予約不可。窓口受付のみとなりますのでご了承ください。
- 電子チケット (先着80名分) ▶▶



伝統文化アドバイザー
連載エッセイ

和太鼓の力～Part4～

(前回からの続きとなります)

大トりの我々の演目のスタートです。
先頭の「行くぞ！」の掛け声に110人が「おおお！」と地響きのような雄叫びを上げながら、台車に乗った太鼓を一斉に自身の布陣に移動させ、扇を開いたような隊形に変わります。一糸乱れぬ見事な移動と転換に、観客から一斉に拍手が沸き起こりました。いよいよ演奏です。

大太鼓の音が鳴り始めます「ドドン ドン ドン ドン ドン ドン・・・」その音の響きに合わせ飛鳥師匠が竜笛を響かせます。そして最後の「ヒヤ～～～ヒヤ！」という甲高い竜笛が響き終わると、いよいよ我々の演奏です。
締め太鼓の固くも澄んだ太鼓の音が響きます「テン テケテケテケ」気合一閃「イーヤー」中太鼓が吠えます「ズドーーーーン」。全員の呼吸が見事にピタリと揃いドームいっぱいその響きが伝わります。

私自身、この後の記憶は演奏が最後に決まるまではほとんどなく、ただ感覚的に、一心不乱に体に叩き込んだこの曲をほかのメンバーと心をついにしながら激しくも心地よい時間を体感していました。苦しいとかつらいとかはなく、ただただ歓喜と感謝の演奏だったと思います。
そしていよいよラスト「ヨ～～～～オッ！」「ドドン！」「ハッ ソイヤ！」と決めポーズが決まるとナゴヤドーム(現バンテリンドームナゴヤ)が一瞬シーンとなり、その後一呼吸置くと万雷の拍手が降り注がれました。

もうその時はほぼ全員が汗と涙で顔をグシャグシャにしながらも胸を張り一礼をし、整然と再び一糸乱れぬ動きで、退場しました。裏導線に移動してからは、ぶっ倒れるもの、人目もはばからず号泣するもの、べとべとの汗みれにも関わらず男同士で抱き合うもの、各々が感情の籬を外し、大成功の演奏をたたえ合う姿は今でも私の記憶に鮮明に残っています。

ドームで受けた熱と力、そして感動と3万人の拍手の嵐、歓喜の中での絶対的な達成感。これを感じてしまった私です、それこそ、スーパースターに成った気分。
この勘違いが、プロの太鼓打ちへと大きく人生を変えることになるのでした。

過去の連載エッセイを
劇場HPにて公開中！



快適以上を、世の中へ。



広告募集中！

1枠50,000円/年(HPバナー掲載有)
ご希望の方は北文化小劇場まで
TEL 052-910-3366